

# ローム株式会社 2020年3月期 第3四半期決算概要

(2019年4月1日から2019年12月31日まで)

2020年2月4日

## 連結業績

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

		20/3期実績		19/3期実績		対前年同期増減		19/3期実績	20/3期計画	(注)1
		第3四半期 累計期間	第3四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率		
売上高	百万円	279,188	310,679	-31,491	-10.1%	398,989	365,000	-8.5%		
売上原価	百万円	191,753	193,659	-1,906	-1.0%	254,727	253,200			
販売費及び一般管理費	百万円	61,177	65,636	-4,459	-6.8%	88,352	84,800			
営業利益	百万円	26,257 (9.4%)	51,383 (16.5%)	-25,126 (-7.1%)	-48.9%	55,909 (14.0%)	27,000 (7.4%)	-51.7%		
経常利益	百万円	28,673 (10.3%)	59,875 (19.3%)	-31,202 (-9.0%)	-52.1%	64,689 (16.2%)	28,000 (7.7%)	-56.7%		
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	21,485 (7.7%)	43,423 (14.0%)	-21,938 (-6.3%)	-50.5%	45,441 (11.4%)	22,000 (6.0%)	-51.6%		
( )内は売上高比率										
1株当たり四半期(当期)純利益	円	206.13	411.36	-205.23	-49.9%	431.29	210.51			
自己資本当期純利益率	%					6.0				
総資産当期純利益率	%					5.2				
1株当たり純資産	円	7,357.92	7,239.70	+118.22	+1.6%	7,332.04				
E B I T D A (注)2	百万円	58,675	84,280	-25,605	-30.4%	101,325				
設備投資額	百万円	24,004	37,854	-13,850	-36.6%	57,291	50,000	-12.7%		
減価償却額	百万円	32,418	32,896	-478	-1.5%	45,415	46,500	+2.4%		
研究開発費	百万円	24,845	29,196	-4,351	-14.9%	39,578	34,000	-14.1%		
グループ従業員数	人	22,360	23,307	-947	-4.1%	22,899				
為替レート(US\$期中平均レート)	円/US\$	109.10	110.82	-1.72	-1.6%	110.69	105.00	(第4四半期)		

(注) 1. 計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

問合せ先 〒 615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21 番地 (075)311-2121  
ローム株式会社 広報IR室



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 ローム株式会社

上場取引所 東

コード番号 6963 URL <https://www.rohm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 忠信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 財務担当 兼 経理本部長 (氏名) 上原 邦生

TEL 075-311-2121

四半期報告書提出予定日 2020年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	279,188	10.1	26,257	48.9	28,673	52.1	21,485	50.5
2019年3月期第3四半期	310,679	2.3	51,383	12.7	59,875	25.4	43,423	26.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 21,234百万円 (40.7%) 2019年3月期第3四半期 35,833百万円 (39.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	206.13	200.37
2019年3月期第3四半期	411.36	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	887,373	755,388	85.1
2019年3月期	874,427	766,754	87.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 754,903百万円 2019年3月期 766,266百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		75.00		75.00	150.00
2020年3月期		75.00			
2020年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	365,000	8.5	27,000	51.7	28,000	56.7	22,000	51.6	210.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	110,000,000 株	2019年3月期	110,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	7,373,283 株	2019年3月期	5,493,365 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	104,235,206 株	2019年3月期3Q	105,559,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(四半期連結損益計算書) .....	7
(四半期連結包括利益計算書) .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	9

※ 補足説明資料としまして、「2020年3月期 第3四半期決算概要」を別途添付しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

#### 業績の全般的概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や中国の景気減速による影響などにより総じて減速傾向となりました。地域別では、米国は企業の設備投資が抑制傾向をたどりましたが、個人消費は堅調な水準を維持し、回復傾向を維持しました。中国では、個人消費や工業生産、設備投資等の伸びが鈍化し厳しい状況が続きました。ヨーロッパやアジア各国では、政治不安や中国における景気減速の影響等を受け、停滞が続きました。日本においては、中国やヨーロッパなど向けの輸出が減少傾向となり、鉱工業生産も減少傾向が続くなど、景気の回復は鈍化傾向となりました。

エレクトロニクス業界におきまして、自動車関連市場では、「安全」、「環境」などに対するニーズの高まりからエレクトロニクス製品の実装率の向上が続きましたが、中国やインドでの自動車販売台数悪化が長引くなど、全体としては厳しい状況となりました。産業機器関連市場では、工作機械受注の落ち込みが続き低迷が続きました。民生機器関連市場では、市況悪化の影響を受け需要が低迷しました。こうした状況を受け、半導体をはじめとする電子部品市場は、厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、ロームグループにおきましては、従来に引き続き、中長期的に成長が期待される自動車関連市場や産業機器関連市場などへの製品ラインアップの強化と、中国市場での販売体制の強化を進めました。また、「アナログ」、「パワー」及び「スタンダードプロダクツ」など、ロームグループが強みを持つ技術領域を中心とした新製品・新技術の開発に取り組むと共に、顧客へのシステムソリューション提案など技術サポート体制を整えました。生産面においても、引き続きR P S活動（※1）を推進し、先進の品質管理体制の構築やスマートファクトリー（※2）化の推進などの「生産革新」を継続して進め、加えて安定供給体制強化や生産効率改善のための工場の一元管理化などに取り組みました。さらに、新製品であるS i Cデバイス（※3）の専用工場の建設を進めるなど中長期的な生産能力増強の為の設備投資を進めました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は民生機器関連市場及び産業機器関連市場を中心に減少し、前年同期比10.1%減の2,791億8千8百万円となりました。

営業利益は売上高の減少に加え、固定費負担率の上昇などにより前年同期比48.9%減の262億5千7百万円となり、当第3四半期連結累計期間の営業利益率は前第3四半期連結累計期間の16.5%から9.4%に低下しました。

経常利益につきましては、営業利益の減少に加え、前年同期の為替差益の発生とは異なり為替差損が発生したことにより前年同期比52.1%減の286億7千3百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に経常利益が減少したことにより前年同期比50.5%減の214億8千5百万円となりました。

またロームグループで重視している経営指標について、当第3四半期連結累計期間のE B I T D A（※4）は前年同期比30.4%減の586億7千5百万円となりました。

#### ※1. R P S（Rohm Production System）活動

ロームグループの各生産拠点で進めている生産改善活動で、より高品質なモノづくりを進めるとともにリードタイムの短縮や在庫など、あらゆるムダを徹底的に排除する活動。段違い（ダントツ）の高効率、高品質生産体制を構築することで利益体質の強化を図る。

#### ※2. スマートファクトリー

生産設備などをネットワークで相互に接続し、より高度な品質改善や、生産効率の改善を進めた製造工場のこと。

#### ※3. S i C（炭化ケイ素）デバイス

S i（ケイ素）とC（炭素）で構成される化合物半導体デバイス。従来用いられているS i（ケイ素）と比べて、さらに高耐圧、低オン抵抗、高速動作の特長を持ち、電力変換効率を飛躍的に改善できる。また、高温でも安定して動作するという特長も持つ。

#### ※4. E B I T D A（Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization）

税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて求めたもの。グローバル企業等の収益力を比較する際によく利用される指標。ロームグループでは簡易的に営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

業績のセグメント別概況

<LSI>

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,310億9千9百万円（前年同期比8.5%減）、セグメント利益は106億2千万円（前年同期比36.7%減）となりました。

自動車関連市場につきましては、xEV（※5）向けの絶縁ゲートドライバIC（※6）や、カーボディやADAS分野向けの各種電源ICなどが売上を伸ばしましたが、インフォテインメント向けの各種ドライバICなどの売上は減少しました。産業機器関連市場につきましては、FA関連市場向けなどで売上が減少しました。民生機器関連市場につきましては、スマートフォンや事務機向けのほか、TVなどのAV機器向けなど総じて厳しい状況となりました。

※5. xEV

電気自動車（EV）、ハイブリッド車（HV）、プラグインハイブリッド車（PHV）など電力を駆動力として使用する各種自動車の総称。

※6. 絶縁ゲートドライバIC

SiCやIGBT（※7）などのパワー半導体を駆動させるためのICで、絶縁素子を内蔵することにより人体・システム保護に必須の絶縁用外付け部品を不要にした。

※7. IGBT（Insulated Gate Bipolar Transistor＝絶縁ゲート型バイポーラトランジスタ）

MOSFETとバイポーラトランジスタを複合化したトランジスタで、低オン抵抗と比較的速いスイッチング特性の両方を備えており、現在、大電力を電圧制御する分野で幅広く使用される。

<半導体素子>

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,057億9千4百万円（前年同期比10.2%減）、セグメント利益は97億1千4百万円（前年同期比63.1%減）となりました。

トランジスタとダイオードにつきましては、パワートレインやカーボディなど自動車の電装化の進展に伴う分野については採用が増加しましたが、インフォテインメント向けの売上は減少し、産業機器関連市場向けや民生機器関連市場向けについても厳しい状況が続きました。パワーデバイス部門につきましては、IGBTは売上を伸ばしましたが、SiCについては市場調整の影響を受けました。また、発光ダイオードにつきましては、民生機器関連市場向けに加えて産業機器関連市場向けの売上も減少しました。半導体レーザにつきましても、民生機器関連市場向けを中心に売上が減少しました。

<モジュール>

当第3四半期連結累計期間の売上高は267億9千1百万円（前年同期比16.8%減）、セグメント利益は34億3千1百万円（前年同期比35.8%減）となりました。

プリントヘッドにつきましては、決済端末向けなどで売上が減少しました。オプティカルモジュールにつきましては、自動車向けはLEDモジュールが売上を伸ばしましたが、スマートフォン向けはセンサモジュールの売上が減少しました。

<その他>

当第3四半期連結累計期間の売上高は155億2百万円（前年同期比11.3%減）、セグメント利益は15億5千3百万円（前年同期比53.9%減）となりました。

抵抗器につきましては、自動車関連市場や民生機器関連市場向けなどで売上が減少しました。タンタルコンデンサにつきましては、PC向けなどで売上が減少しました。

上記「業績のセグメント別概況」の記載は、外部顧客に対するものであります。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ129億4千6百万円増加し、8,873億7千3百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が412億8千3百万円、のれんが14億6千6百万円、それぞれ増加した一方、たな卸資産が89億8千2百万円、投資有価証券が66億5千1百万円、有形固定資産が65億5千5百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ243億1千2百万円増加し、1,319億8千5百万円となりました。主な要因といたしましては、社債が409億8千5百万円増加した一方、未払金が94億5千3百万円、流動負債のその他が49億3千9百万円（うち、未払費用が53億5千3百万円）、未払法人税等が48億1千3百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ113億6千6百万円減少し、7,553億8千8百万円となりました。主な要因といたしましては、自己株式の取得により168億9千7百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が58億1千1百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の87.6%から85.1%に低下しました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の市場環境は、貿易摩擦問題の影響、中国における景気減速や自動車生産台数の低迷等により厳しい状況が続いております。これまでのところは、前回公表の業績予想を変更する状況には至っておりませんが、第4四半期のエレクトロニクス市場については依然として不透明感があり、状況を慎重に見極めていく必要があると考えております。

今後、既に公表した業績予想に対する変更が必要と判断される際には、改めて業績予想の修正を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	268,254	309,537
受取手形及び売掛金	84,021	82,984
電子記録債権	5,833	5,936
有価証券	21,491	16,415
商品及び製品	30,261	24,543
仕掛品	56,592	50,430
原材料及び貯蔵品	34,114	37,011
未収還付法人税等	481	754
その他	10,022	10,487
貸倒引当金	△69	△83
流動資産合計	511,002	538,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	241,973	244,596
機械装置及び運搬具	583,154	592,692
工具、器具及び備品	52,053	52,085
土地	66,973	66,871
建設仮勘定	22,334	22,455
その他	-	3,913
減価償却累計額	△714,844	△737,525
有形固定資産合計	251,645	245,090
無形固定資産		
のれん	-	1,466
その他	4,097	3,161
無形固定資産合計	4,097	4,628
投資その他の資産		
投資有価証券	87,683	81,032
退職給付に係る資産	1,772	2,159
繰延税金資産	6,717	5,853
その他	12,212	10,665
貸倒引当金	△703	△73
投資その他の資産合計	107,682	99,637
固定資産合計	363,425	349,355
資産合計	874,427	887,373



（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,873	11,467
電子記録債務	4,252	3,482
未払金	26,453	17,000
未払法人税等	8,137	3,324
その他	25,457	20,518
流動負債合計	76,174	55,793
固定負債		
社債	-	40,985
繰延税金負債	19,964	22,451
退職給付に係る負債	10,688	10,877
その他	845	1,877
固定負債合計	31,499	76,191
負債合計	107,673	131,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,403	102,403
利益剰余金	634,606	640,417
自己株式	△47,430	△64,327
株主資本合計	776,549	765,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,850	30,127
為替換算調整勘定	△35,487	△36,949
退職給付に係る調整累計額	△3,645	△3,737
その他の包括利益累計額合計	△10,282	△10,559
非支配株主持分	487	484
純資産合計	766,754	755,388
負債純資産合計	874,427	887,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	310,679	279,188
売上原価	193,659	191,753
売上総利益	117,019	87,435
販売費及び一般管理費	65,636	61,177
営業利益	51,383	26,257
営業外収益		
受取利息	2,727	2,933
受取配当金	973	1,002
為替差益	4,729	-
その他	927	1,126
営業外収益合計	9,357	5,062
営業外費用		
為替差損	-	2,215
和解金	841	162
その他	23	268
営業外費用合計	865	2,646
経常利益	59,875	28,673
特別利益		
固定資産売却益	128	303
投資有価証券売却益	-	4,369
特別利益合計	128	4,673
特別損失		
固定資産売却損	42	58
固定資産廃棄損	83	156
減損損失	638	107
投資有価証券売却損	-	27
投資有価証券評価損	5	32
事業整理損	259	-
特別退職金	212	620
特別損失合計	1,240	1,003
税金等調整前四半期純利益	58,763	32,343
法人税、住民税及び事業税	14,873	7,960
法人税等調整額	444	2,878
法人税等合計	15,318	10,839
四半期純利益	43,444	21,503
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,423	21,485

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益	43,444	21,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,004	1,277
為替換算調整勘定	2,885	△1,454
退職給付に係る調整額	507	△92
その他の包括利益合計	△7,611	△269
四半期包括利益	35,833	21,234
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,799	21,208
非支配株主に係る四半期包括利益	33	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2019年11月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,879,100株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が16,890百万円増加しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」（2016年1月13日）を適用しており、借手は原則として全てのリースを資産及び負債として認識しております。当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、主に使用権資産（有形固定資産のその他）が3,913百万円、使用権資産の減価償却累計額（有形固定資産の減価償却累計額）が1,223百万円及びリース負債（流動及び固定負債のその他）が2,331百万円それぞれ増加しております。なお、従来無形固定資産のその他等に含めて記載しておりました土地使用権等484百万円につきましては、第1四半期連結会計期間より有形固定資産のその他及び減価償却累計額に含めて記載しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売上高								
外部顧客への売上高	143,203	117,788	32,206	293,198	17,481	310,679	—	310,679
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,988	5,898	43	7,929	47	7,977	△7,977	—
計	145,191	123,686	32,249	301,127	17,529	318,657	△7,977	310,679
セグメント利益	16,788	26,354	5,341	48,484	3,371	51,856	△473	51,383

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△473百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△779百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）306百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売上高								
外部顧客への売上高	131,099	105,794	26,791	263,685	15,502	279,188	—	279,188
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,473	4,305	—	5,779	46	5,825	△5,825	—
計	132,573	110,099	26,791	269,465	15,549	285,014	△5,825	279,188
セグメント利益	10,620	9,714	3,431	23,766	1,553	25,319	937	26,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額937百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△365百万円、セグメントには配賦しない決算調整額(退職給付費用の調整額等)1,302百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。